

TOKUSHIMA5.0

- 徳島の企業の新しい形を作る第一歩に！
～ニタコンサルタント株式会社～


目次

1. 地域貢献の説明 (ニタコンサルタント株式会社に即して)
2. 前半まとめ
3. 3つの疑問とその検証
4. 疑問から得た解決策
5. 解決策の具体例
6. 具体例踏まえた解決策
7. まとめと今後の課題

ニタCの考える「地域献」



自主自立の精神をもって
公益を考えて行動すること



地域貢献したいという志を持った人にとって
ニタCは魅力的な企業といえるのか？

建設コンサルタントの仕事内容

→河川や橋、道路などを作る

=形に残る、公益を考えている

官公庁の技術サポート

チームで業務に挑む

ルーチンワークが少なく、新しい技術も必要

= 自主自立の精神を持った人に適している

ニタCは地域貢献したいと考える人にとって

すべて条件はそろっているといえる

さらなる発信力の向上が必要

以上のことを
踏まえると...

地域貢献したい学生と
ニタコンサルタントさんの
共同の人材共育の場の
提供が重要であり、
かつ発信力向上を目指さ
ねばならない！

ここで3つの疑問が...



学生はどのような学生か？
(具体的に)



どのように発信していくか？



学生との共創教育の内容
(→これは最後に)

どのような学生か

- 地域貢献性の高い人材はいったいどこにいるのか？

→まず、大学内ということを考えると、地域創生系の学部、徳島大学でいうと他にも生物資源産業学部や社会基盤の学生もターゲット層として適している。

→しかし、学内より実際に地域系の活動をしているサークルやNPOなどのボランティアに目を向けていく視点も大切である。

どのように(誰が) 発信していくか？

- 発信方法は？

→ニタコンサルタントさんが近年、力を入れている映像制作(動画)で発信していく。(SNSなど使いながら)

(今回は新聞、就活サイトなど費用の高いものは除く)

→しかし、発信は「誰が」するかで大きく変わってくる！ここではニタコンサルタントさんが発信していくのではなく、学生が発信していく方が発信度合いは強くなる。

この2つの疑問から得た 新たな解決策

→学部外の学生とつながり、ニタコン
サルタント協力のもと学生が学生に発信していく。

・では実際そんなことが可能なのか？

→次項ではその具体例紹介をする



NPOチャレンジサポーターズ

むすびcafe



sunsunマーケット



動画編集

カフェ経営戦略

公務員企画・市長
インタビュー

むすびcafe

商店街イベント

新商品開発

資金獲得

学生と企業の関わりについて

小林ゴールドエッグさんとの
新メニュー開発(生物資源産
業学部1年 3人)

1/20よりむすびcafé内で新
メニュー開始



学生と企業の関わりについて

- 広沢自動車学校と
- むすびcaféが連携して
1/12、1/14に2回動画
制作会を開催！
- (1回目 12人参加)



学生との共創教育とまとめ

具体例等を通じて結論は...

ニタコンサルタントさんが今後重要視しているデジタル部門での企画と学生が主体的となって挑戦できるプロジェクトを提供し、地域団体と連携を図り実行する！

これにより、学生と企業で学生の集客などをほぼ費用ゼロで最大限の効果を発揮できる！

まとめ

- 今回は新しい形の地域連携、貢献のビジネスを考えてみた。今後はDX化なども進むだろうが、根本である人とのつながりをもう一度生み出していかなければいけない。

だからこそ地域貢献の観点で学生とのつながりが強い企業はないため、ニタコンサルタントさんが第一人者となり新しいTOKUSHIMAを創り上げていかなければならない。

DX化と共に新たなTOKUSHIMAを創ろう！

今後の課題

- 徳島のみならず、地域企業と学生のつながりは薄く、多くの学生は地元企業のことについて無知である。今回提案した内容は継続化させなければ、有望な人材は県外へ流出してしまうだろう。大学は貴重な学生の宝庫であるが、制約も多いためあまり人材引き止めるには大きな効果は今のところ表れていない。そのため今後行うべきことはいかに大学、企業、地域をつないでいくことにあると感じた。

学生、企業、大学、地域が各々主体的、相互協力しながら取り組む

ご清聴ありがとうございました。